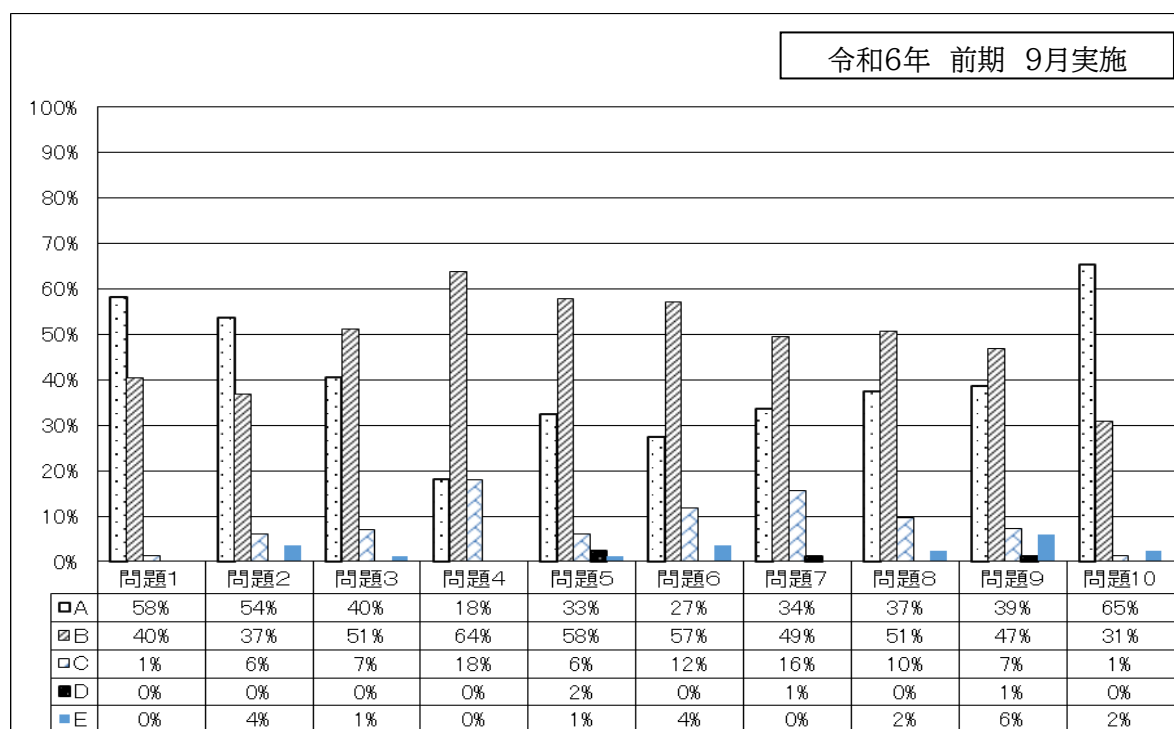
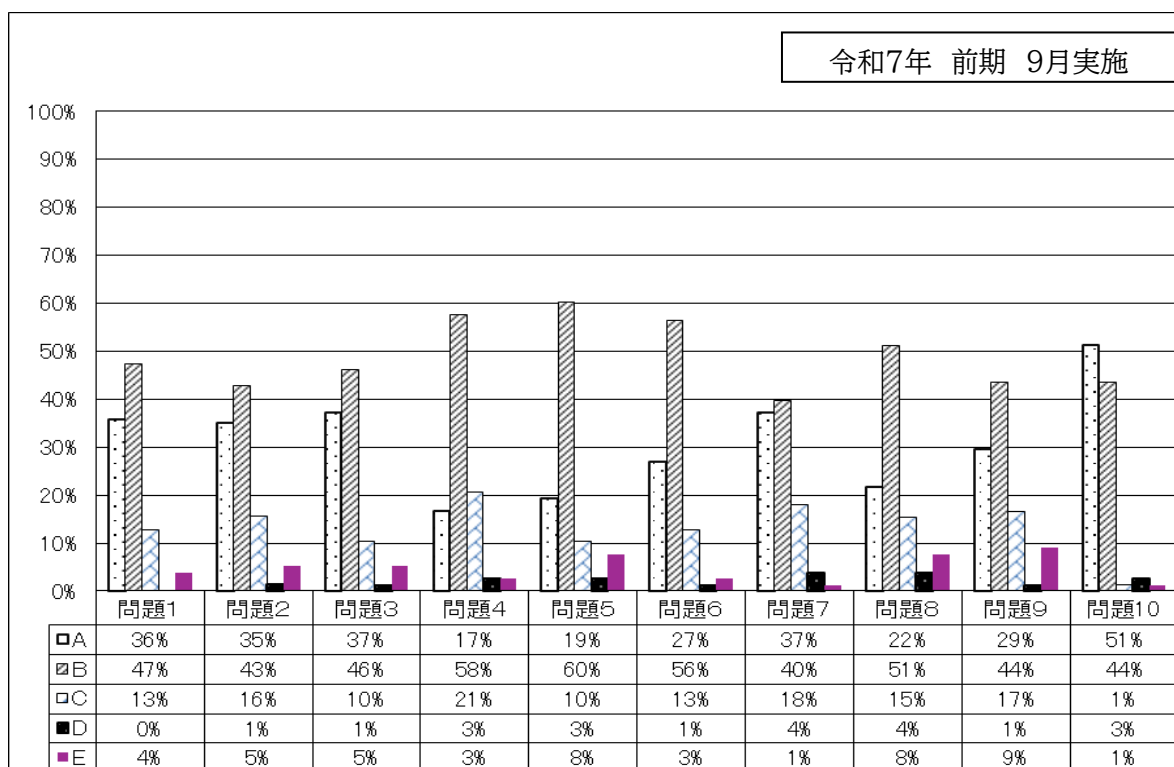


前期学校評価アンケート集計結果 経年比較(保護者)



A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
- 問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
- 問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
- 問4 宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
- 問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
- 問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
- 問7 早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
- 問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
- 問9 子どもに力をつけてほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる。
- 問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。

昨年度は問1～問10まで、「A よくあてはまる」「B ややあてはまる」を合わせた、肯定的な評価が80%以上を占めていたが、今年度はすべての項目について肯定的な評価が下がる結果となった。

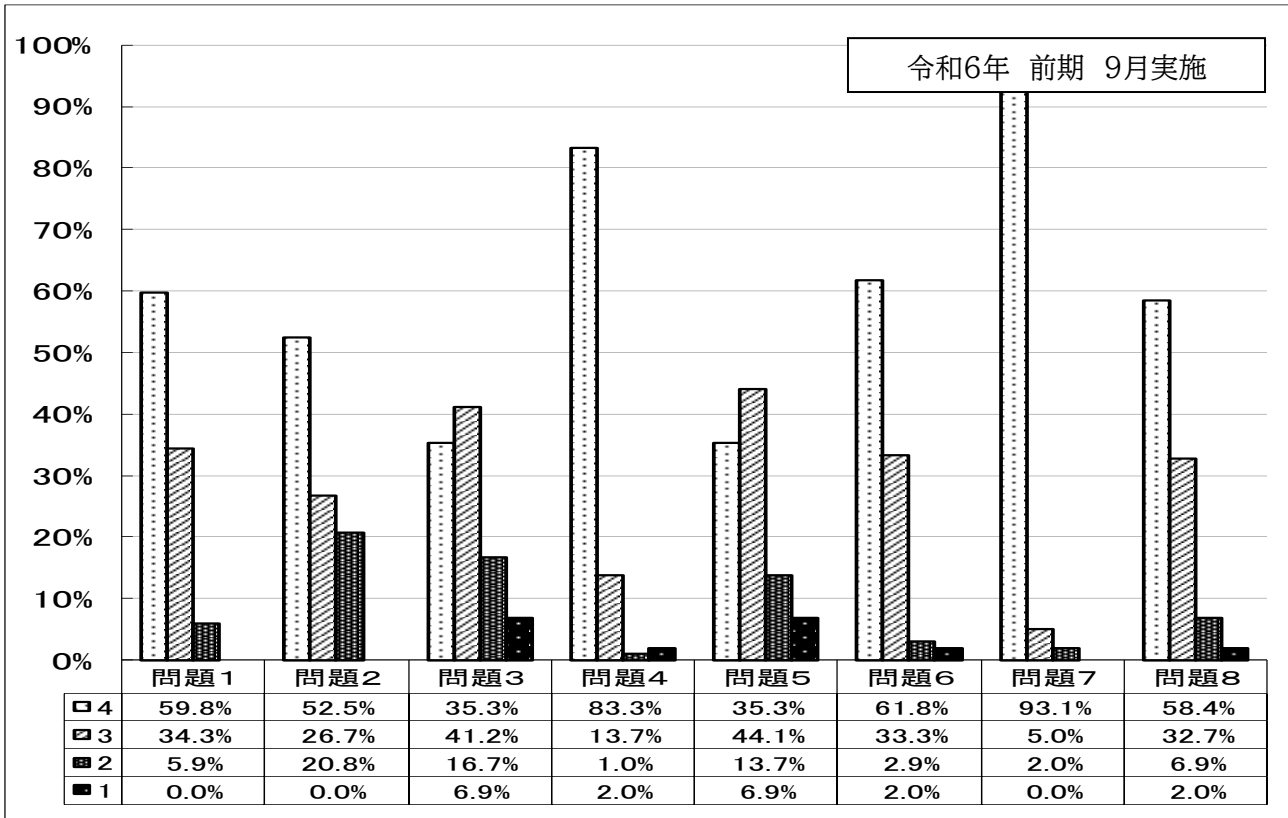
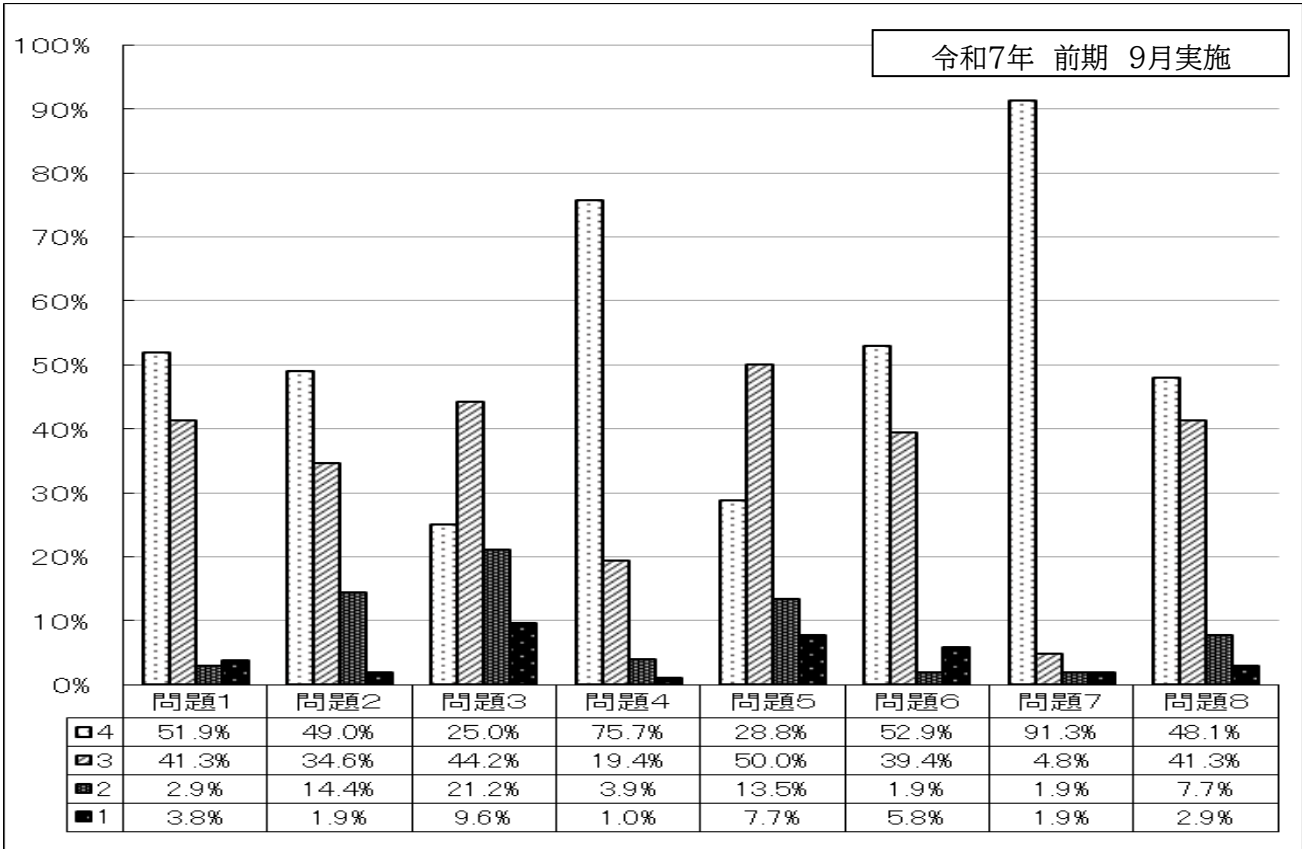
特に、問1『教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている』、問2『教育目標の達成に向けて情熱を持って教育にあたっている』、問8『子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている』、問9『子どもに力をつけてほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる』の4つの質問については、昨年度よりも10%以上肯定的な評価を下げる結果となった。学校の取組が具体的に届いているとは言えない結果だと考えている。

今年度は、昨年度よりもホームページの更新に力を入れており、学校の様子が家庭にも伝わるように取組を進めている。しかし、上記4つの項目については、家庭にしっかり届いてるわけではないということが明らかとなった。学校だよりや懇談会などで、直接的に学校の方針や具体的な取組、教育活動に対する子ども達の声などを発信していくことが必要だと考える。また、保護者との対話の機会を作る、保護者の意見を行事や教育活動に反映するなど、より一層、学校と家庭が密に連携することで、お互いの理解を深め、子どもたちが安心して学びに向かえる環境づくりを進めていく必要があると考える。

問4『宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている』は、ここ数年評価の低い結果となっている。子どもたちの学びを支えるためには、学校と家庭が同じ方向を向いて協力することが大切である。学校は、学校だよりや保護者会等を通じて、家庭学習の意義を伝える、家庭では、学習に集中できる環境を整える・毎日の学習時間を確保するなど、この項目についても学校と家庭とが連携して取組を進めていく必要がある。

ここ数年評価の低い項目として、問7『早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている』がある。毎日元気に学校生活を送るためには、基本的な生活習慣の確立が必要不可欠である。この項目については、学校と家庭とが共通の課題として認識し、一緒に解決を目指していくことが必要である。子ども達へは、授業で「睡眠の大切さ」「朝食の役割」などを扱う、給食時間に「朝ごはんの大切さ」について放送をおこなうなど、子ども達自身が基本的な生活習慣の大切さを実感し、自ら実践していける力をつけられるような取組を進める。また保健だよりやホームページ等で家庭に向けて生活習慣の重要性を伝え、発信していくことで、家庭の意識も高め、協力して改善していきたい。

子どもたちから見た学校生活



4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

- ① あなたは、学校が楽しいですか。
- ② 勉強(授業)はわかりますか。
- ③ 授業中に発表していますか。
- ④ 宿題をしていますか。
- ⑤ 早寝早起きをしていますか。
- ⑥ あいさつをしていますか。
- ⑦ 朝ごはんを食べていますか。
- ⑧ 使ったもののあとかたづけをしていますか。

「①あなたは、学校が楽しいですか」については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が93.2%(−0.9%)という結果だった。また、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した割合は、6.7%(+2.9%)だった。昨年度と比較すると肯定的な回答は低い評価になったものの、多くの子どもたちが学校に来ることを「楽しい」と考えていることがうかがえる。しかし、今年度は「あてはまらない」と回答した児童が3.8%いた。3〜4人ほどは「学校が楽しくない」と感じているということになる。保護者の結果とも合わせて考えると、『子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組』について考えていく必要性を感じる。

「②勉強(授業)はわかりますか」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が83.6%(+4.4%)という結果だった。昨年度と比較すると、「わかる」「できる」と感じている児童が4人ほど増えたということになる。「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した割合は16.3%(−4.5%)で、「わからない」と感じている児童が減っている。今後も教員の授業力向上、学力定着を図り、子ども達が「わかる」「できる」という気持ちをもてる授業づくりをしていきたい。

「③授業中に発表していますか」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が69.2%(−7.3%)という結果が出た。一昨年、昨年と少しずつ改善されてきていたが、今年度は下がる結果となった。授業中に必要性のある対話の場面を設定することは続けているので、『発表』という表現が『みんなの前での発表』というイメージで子ども達はとらえている可能性もある。この質問の意図は、『自分の思いや考えを表現すること』についての意識をはかるところにあるので、質問項目の改善が必要かも知れない。安心して自分の思いや考えを話せる学級の雰囲気づくりは、引き続き大切にしていきたい。

「④宿題をしていますか」では、子ども側と保護者側の意識の違いが出る結果となっており、子ども達自身の評価は保護者よりも高い。しかし、95.1%(−1.9)という結果は昨年度よりも下がっている。「やるべきことはきちんとやり切る」姿勢は、本校が目指す子ども像にあげている「最後までがんばる子」につながると考えている。引き続き、子ども達が学校を離れても、学ぶ意欲や学ぶ楽しさを感じられるように、家庭とも連携して取組を進めていく。

「⑤早寝早起きをしていますか」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が78.8%(−0.6%)、「⑦朝ごはんを食べていますか」は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が96.1%(−2%)という結果が出た。これらの項目も、子ども側と保護者側の意識の違いが出る結果となっている。昨年度は「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計が2%であったが、今年度は「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計が3.8%であった。4人ほど、時々やいつも朝ごはんを食べずに登校していることが分かる。毎日元気に学校生活を送るためには、基本的な生活習慣の確立が必要不可欠である。家庭と連携し、望ましい生活習慣を自ら実践する力を育てたい。

学校評価アンケート 自由記述欄(保護者)

- いつも細やかに気配りいただきありがとうございます。おかげさまで、学校、勉強が大好きな子になっています。
- 学ぶことは楽しいと大いに堪能しています。いつもありがとうございます。
- 日頃より、子どもたちの教育や学校運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
- 他の学校にはない、乾隆だけの特色があればいいと思った。
- 家庭でできるサポートはしているので、生活リズムや学習習慣は身につけることができている。
- 学校清掃や行事の準備等、教職員だけで取り組んでいる事が多い様に思えます。教職員だけで行わず、保護者へも協力を促し、互いに交流し、日々の学校教育の理解を深めて行く事が子供達の教育にもなると思う。私は何かあればできる限り協力したいです。
- 夏季限定になりますがプールの授業で見学者が外で見学となるとこの暑さの中で1時間以上は危険があると思います。熱中症の心配もありますのでもし可能でしたら教室での自習学習かせて足だけ水につかるだけでもしていただけたらと思います。
- 学級通信がすぐ一変変わった時、連絡がなかったのは残念でした。先生方の多忙は理解できますが、先生方の思いや個性が、見えにくいように思います。
- 「国語と算数の時間は、すぐに先生の説明が理解できて、あとの時間が待ち時間ばかりで暇や」と、しばしば言います。かと言って、プリントをやると、完璧ではないので、どんどん課題を与えてやっていただければ、と思います。
- 卒業したきょうだいとあわせ、11 年小学校でお世話になっていますが、年々行事や取り組みが縮小されつつあるのを感じます。そのため子どもたちの興味をもつ意識や好奇心が薄れていると思いますし、上記のようなわからないというという回答が目立ちます。あと、毎年思うのですがこのアンケート、じつに回答がしにくいです。生徒らからの目線、実際に通学している子どもでないとわからないことも多いです。個別のお返事は結構です。
- 学校に求めることは、見通しの立てられない行き当たりばったりの授業をする教師のサポートをお願いしたいです。

【ユニット担任制について】

- 来年度からのユニット担任制について、これからかと思いますが、スタートする前に保護者の意見を取り入れてほしいと思う
- ユニット教育を推し進めるにあたり、説明会の中で校長先生より「この教育を行うために突き進んでいくので、それを阻まないで欲しい」とのお話がありました。しかし、我が子が義務教育の中で、しかも私立ではない小学校で、近隣の学校とは異なる取り組みを受けることに、不安や戸惑いを感じる保護者がいるのも自然なことだと思います。
- 特に、もともと学年が一クラスしかない学校で「クラス替えを経験させる」「固着した人間関係を

解消する」といった理由だけで、急に大胆な教育改革を進めることには、慎重さが求められるのではないかと感じておりました。

具体的には以下の点が気になります。

学年をまたいでクラスを分けることで、授業は学年ごとに行われ、児童の移動やスケジュール調整が増える可能性があること。

三人担任制での連携や情報共有が複雑になり、児童一人ひとりへのきめ細かい対応が難しくなる可能性があること。

クラス人数が従来の倍程度になることで、担任や学校の負担が増える可能性があること。

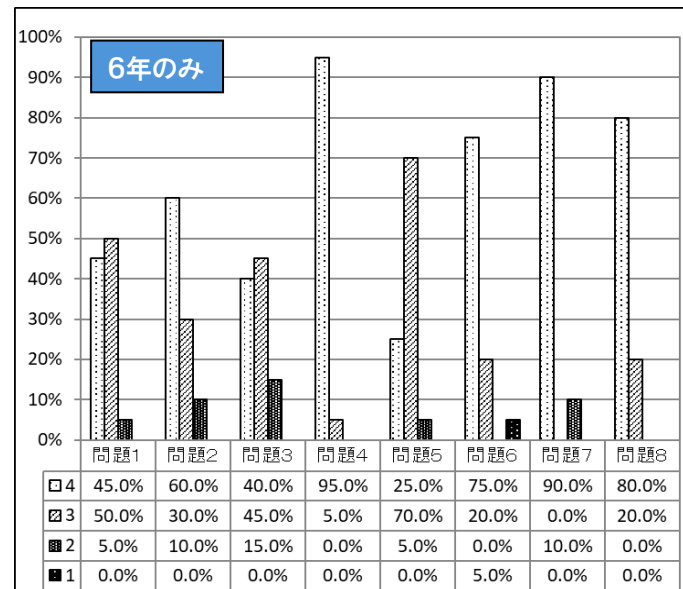
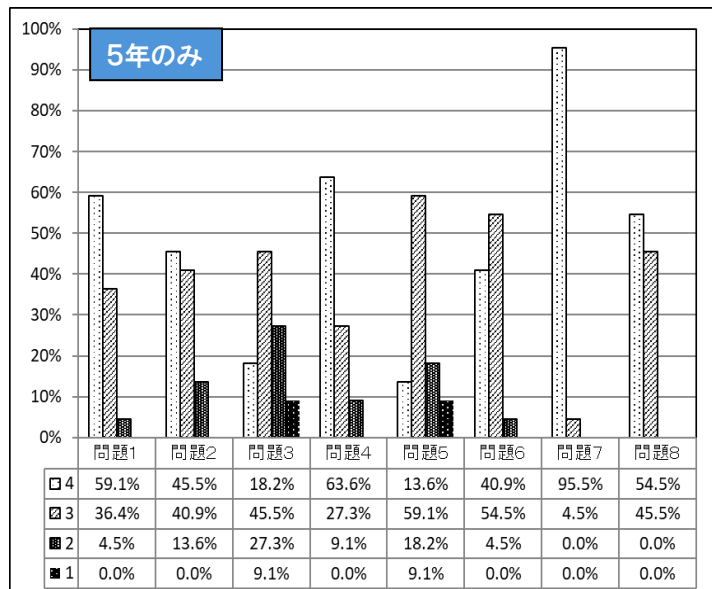
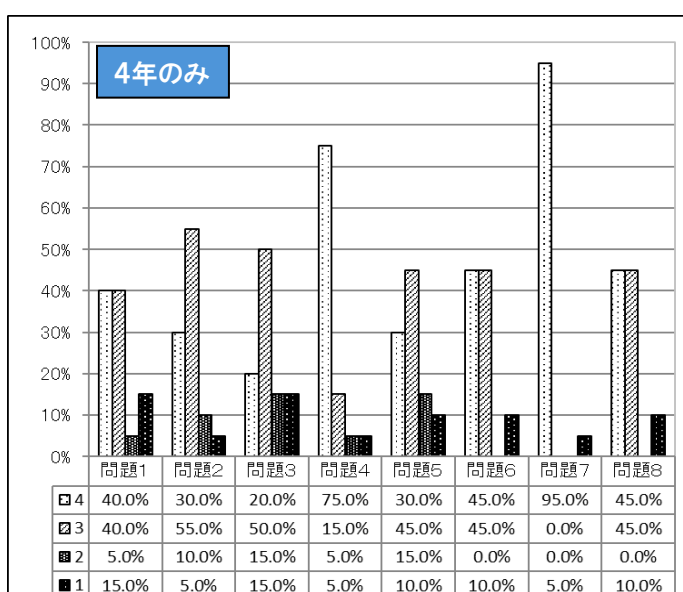
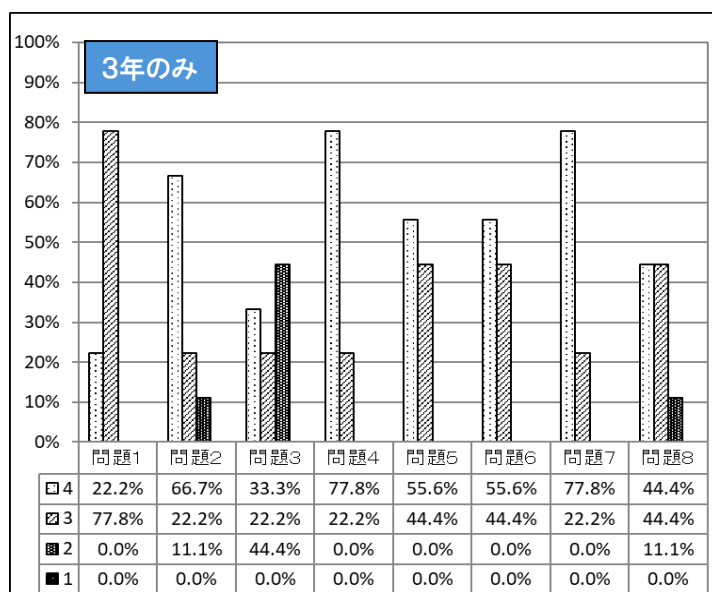
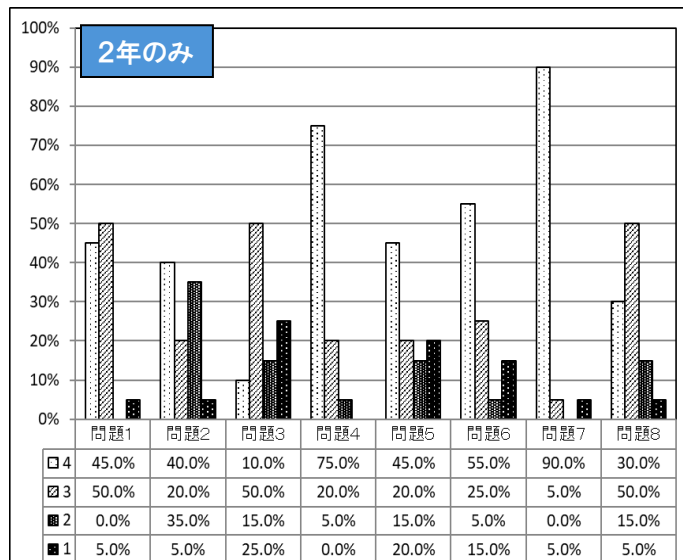
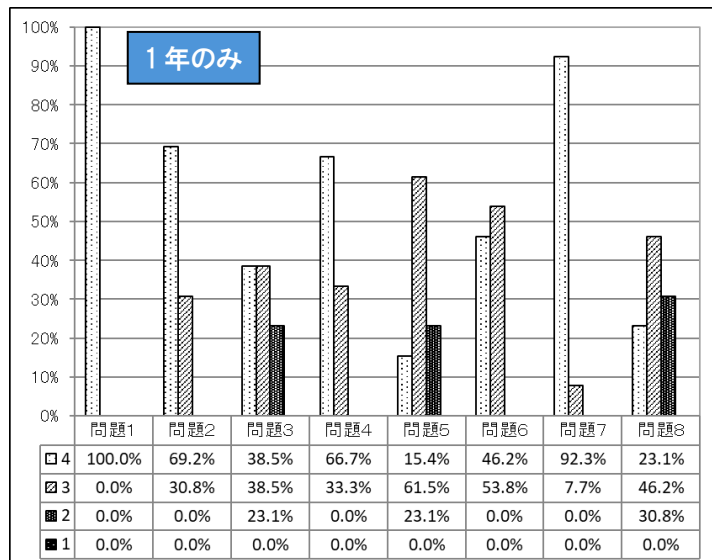
保護者への十分な説明や意見交換の機会が少ないまま導入が進むことへの不安。

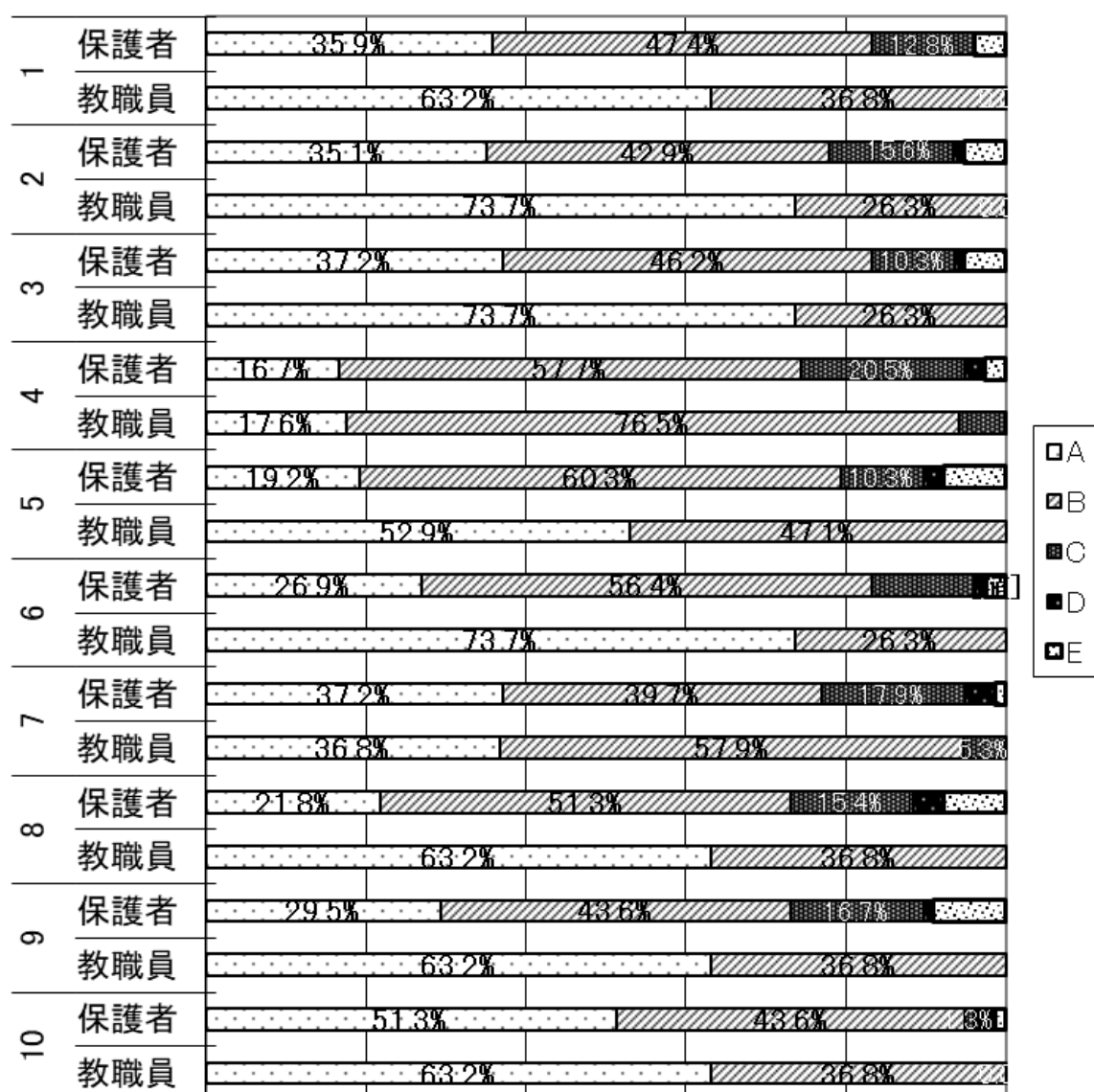
新しい教育制度の趣旨を理解させていただきたいですが、児童や保護者、担任に過度な負担がかからないよう、十分な説明や慎重な導入、柔軟な対応を期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

「子どもたちから見た学校生活」 学年ごとの結果

【アンケート項目】

- ① あなたは、学校が楽しいですか。
- ② 勉強（授業）はわかりますか。
- ③ 授業中に発表していますか。
- ④ 宿題をしていますか。
- ⑤ 早寝早起きをしていますか。
- ⑥ あいさつをしていますか。
- ⑦ 朝ごはんを食べていますか。
- ⑧ 使ったもののあとかたづけをしていますか。





- ①教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
- ②教育目標の達成に向けて、情熱をもって教育にあたっている。
- ③子供一人ひとりを大切にし、認められる学校づくりが進められている。
- ④宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
- ⑤教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身につく取組が進められている。
- ⑥集団での規律やマナーなどが身につくような取組が進められている。
- ⑦早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
- ⑧子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
- ⑨子どもに力をつけてほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる。
- ⑩様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。